

2020年7月5日(日)

コロナ19 全羅南道26番、27番の感染者発生に伴う 緊急発表文

尊敬する道民の皆様。

去る6月27日、木浦市で3人の地域感染者が発生したことに続き、昨夕と本日未明に全羅南道26番、27番の感染者が発生した事実をお伝えすることになり申し訳なく思います。

現在、全羅南道で発生した27人の感染者のうち、地域感染は13人、海外流入は14人です。

今回の二人の感染者は、光州地域の感染者と接触して感染したものと推定していますが、正確な感染原因を明らかにするため、詳細な疫学調査を行っています。

全羅南道26番の感染者は、職場は咸平郡（ナムピョングン）にあり、居住地は羅州市（ナジュシ）の50代女性です。

全羅南道、羅州市及び咸平郡が現在まで確認した結果、6月29日に職場で勤務を終え、光州広域市所在のゴルフ練習場を訪れました。

6月30日、咸平郡所在の職場で退勤後、羅州市南平邑（ナムピョングン）にあるクリーニング屋と薬局、スーパーを経て和順郡（ファスングン）所在の飲食店を訪問しました。

7月1日午前、勤務後に咸平郡大東面（テドンミョン）にある父親の家に立ち寄り、午後の勤務を終えて帰りました。この頃から発熱、から咳、関節痛が始まったことが確認されています。

2日、勤務中に付近の五日市場を訪れ、7月3日、出勤後の午前11時に咸平郡選別診療所で診断検査を受けて午後勤務を終えた後に帰宅しました。

民間の検査機関による検査の結果、4日午前9時30分頃、「陽性」と通知され、全羅南道保健環境研究院で再検査を実施し、昨夜6時頃、最終「陽性」と判定されました。

全羅南道では直ちに康津医療院に隔離入院措置を取り、現在、全羅南道迅速対応チーム、羅州市、咸平郡の疫学調査班で更なる疫学調査を実施しています。

26番感染者と一緒に暮らしている配偶者と子ども、咸平郡に住む父親は、検査の結果すべて「陰性」であることが確認されました。

全羅南道27番の感染者は、靈光郡（ヨングァングン）在住の20代男性です。

全羅南道と靈光郡が現在まで確認した結果、7月1日就労相談のため靈光郡所在の高校と上下水道事業所に立ち寄り、フィットネスクラブと体育公園、父親の友達の家を訪れました。

2日には靈光郡（ヨングァングン）所在のフィットネスクラブ、スーパー、農協ATM、軽食屋、ネットカフェに行ってきました。

同日、光州北区保健所から27番の感染者が6月29日に立ち寄った光州建設基礎教育院で感染者が発生したとの通報を受け、靈光郡保健所に電話相談した後、自己隔離の案内を受けました。

3日、父親の車両を利用して霊光郡選別診療所で検体を採取し、民間検査機関による検査の結果、4日午後6時ごろ「陽性」と通知されました。

全羅南道保健環境研究院で再検査を実施、本日午前2時頃、最終「陽性」と判定されました。

全羅南道では直ちに康津医療院に隔離入院措置を取り、全羅南道迅速対応チームと霊光郡疫学調査班で詳細な疫学調査を実施しています。

現在、27番感染者は症状がない状態で、同居している両親は検査の結果、2人とも「陰性」と確認されました。

26番と27番感染者の訪問地など関連施設については防疫措置を完了し、追加の疫学調査の結果が判明次第、正確な移動経路などを道民の皆様に直ちに知らせます。

追加で確認された接触者に対しても、速やかに隔離措置し、地域社会への感染を徹底的に遮断します。

尊敬する道民の皆様。

首都圏、忠清圏、全羅北道に続き、光州・全羅南道地域にコロナウイルス地域感染が恐ろしい速度で拡散しています。

寺院や教会、病院、療養施設、訪問売り場など、多目的利用施設から地域感染が続き、これ以上「生活の中の距離の確保」だけでは、クリーンな全羅南道を守ることが困難で危険な状況です。

これを受けて、全羅南道では明日7月6日から防疫段階を「生活の中の距離の確保」から「社会的距離の確保 第2段階」へと格上げし、強力な防疫措置を実施致します。

その1 室内では50人以上、室外では100人以上の集まりとイベント開催が全面禁止されます。

その2 公共交通機関や飲食店・カフェなどを利用する際のマスク着用は義務事項です。

今月3日から道内全域で公共交通機関のマスク着用や食品接客業体でのマスク着用を義務付ける行政措置を取りました。

コロナ19を防ぐ最も重要な防疫規則は、マスク着用の日常化です。炎天下で苦しくても、いつでもどこでも必ずマスクを着用してください。

感染者と同じ車両や病室にいたものの、マスクを徹底的に着用して感染しなかった事例が多く認められています。

マスク着用が、ご自身やご家族、ご自身の地域を守る最も確実な方法です。

その3 高齢者療養病院と高齢者療養施設の外部者面会が禁止されます。 去る3日から面会禁止と入所者・従事者の出入りを制限する準コホート隔離(準集団隔離)を施行しています。

その4 公共機関などが運営する多目的利用施設の運営が全面中断されます。 幼稚園、小中高生の登校可否についても、早急に教育厅で教育部と協議して決めます。

今週が地域感染遮断の成否を分ける重大な転換点になるでしょう。道民一人一人の協力が何より重要です。

これまで道民に協調していただいたおかげで感染者はありましたが、さらなる拡大は防げました。

道民の皆様にお礼申し上げます。

コロナ19が目の前まで来ています。必ずマスクを着用してください。喉の痛みや発熱が認められれば、すぐ保健所に相談して、歩き回らず外出を控えてください。

現在の状況が非常に深刻な危機的状況であることを認識し、道民の皆様の積極的かつ自発的な防疫規則の順守を重ねてお願い申し上げます。

ありがとうございます。